

## 府中市地域公共交通計画策定支援業務に係る公募型プロポーザル補足資料

### 1 現行「府中市地域公共交通網形成計画（平成31年3月改訂）」の概要について

#### ■ 公共交通の将来像

##### <市の目指す姿>

- ・笑顔で豊かな暮らしができる府中市～支えあい みんなで創る 府中愛～（府中市総合計画）
- ・魅力がぐっとつながったコンパクトシティ府中（府中市都市計画マスタープラン）
- ・市民生活を支え地域の魅力を高める公共交通（府中市地域公共交通総合連携計画）

##### <公共交通が果たすべき役割>

- ・広域的な移動を確保し、地域間の交流を支える
- ・通勤や通学、買い物、通院等の日常生活を支える
- ・中心市街地と周辺部の交流を維持し周辺地域の活力を支える

#### 公共交通の将来像：豊かな暮らし、魅力あるまちを支える持続可能な公共交通

基本方針1：広域的移動を維持・向上し魅力あるまちを支える公共交通

基本方針2：利便性が高く市民生活を支える公共交通

基本方針3：地域と連携した持続可能な公共交通

基本方針4：積極的な利用促進による公共交通の活性化

基本方針5：先進的な手法により次世代を見据えた公共交通

### 2 令和4年度末時点の府中市等における上位関連計画、事業等の動き

- ・（国）「地域の将来と利用者の視点に立ったローカル鉄道の在り方に関する提言」（令和4年7月）
- ・（国）「アフターコロナに向けた地域交通の「リ・デザイン」に関する提言」（令和4年8月）
- ・広島県が広島県地域公共交通ビジョンを策定中（令和4年度～5年度）。
- ・第5次府中市総合計画の策定（令和2年度）。
- ・ランドデザイン、産業ビジョン、観光ビジョン等の策定を含めた各計画の策定（令和2年度）。
- ・府中市都市計画マスタープランが改訂中（計画期間：令和5年度～）。
- ・府中市立地適正化計画の改訂を予定（令和5年度～）。

### 3 府中市を取り巻く現状

- ・高齢化の進展に伴う運転免許返納者などの公共交通での移動を必要とする人の増加。
- ・「ICT都市」を府中市は目指しており（総合計画）、DXやGXの検討が必要となっている。
- ・「SDGs」を踏まえ、カーボンニュートラルなどの持続可能な都市づくりの世界的な動き。
- ・JR福塩線を含めたローカル鉄道の維持・確保。
- ・府中駅周辺の整備に向けた取組みを進めている。
- ・今後整備される南北道路（栗柄広谷線）を踏まえた路線等の交通体系の在り方。

### 4 本市の概要と地域公共交通の現状

本市は、広島県の東南部内陸地帯に位置します。総面積195.75km<sup>2</sup>。国道486号、国道432号、主要地方道府中上下線、主要地方道府中松永線を主とした道路網が形成されており、尾道北ICまで15分、福山西ICまで25分と中四国へのアクセス性も優れています。

土地利用については、昭和40年代に市内の平地のほとんどを市街化区域に繰り入れ、かつ準工業地域を大幅に採用し、備後地域における内陸工業都市としての地位を築いてきています。

昭和55年には人口増加がピーク（56,200人）に達し、令和2年には昭和55年の67%にあたる37,655人（R2国調）まで減少し、福山市への人口集中が顕著です。世帯数も減少傾向ですが、反対に単身高齢世帯が昭和55年の429世帯から令和2年の2,146世帯に増加しています。

本市の公共交通機関は、本市を縦断するJR福塩線の鉄道があり、運行本数は府中駅止まりの列車により、その前後で異なり「福山～府中」間の約60本/日に対し、「府中～上下～三次」間は約10本/日で1/6程度の運行本数であり、「府中～上下～三次」間は輸送密度が144人（2021年）です。

その他、路線バスがあり他市町と連絡するのが5路線、市内で完結するのが6路線であり、R4.4には路線再編を行い、市内循環バスとの乗継割引を実施し、利用者の増加は一部見られますが、厳しい利用状況にあります。

また、鉄道や路線バスが通っていない公共交通空白地については、デマンドタクシーを導入しており、4事業者により運行しているが、利用者数の低下及びタクシー事業者の経営状況の悪化等により効率的な運行体系への見直しが求められている。

### 5 改訂の理由

- ・現行計画の府中市地域公共交通網形成計画の計画期間は令和5年度までであり、計画策定後、新型コロナウイルスの影響等により、国や府中市を取り巻く状況は、大きく変わっている。公共交通の問題が10年以上進んだとされており、サービス水準の低下と利用者減少の「負のスパイラル」を避けるため、持続可能な交通施策に取り組む必要がある。
- ・広島県においては、令和4年度より広島県地域公共交通ビジョンの策定を行っており、上位計画である地域公共交通ビジョンを反映する必要がある。
- ・都市計画マスタープランや立地適正化計画と一体的にネットワークを検討する必要がある。

### 6 想定される改訂のポイント(案)

- ・現行計画（府中市地域公共交通網形成計画）の検証。
- ・上位関連計画及び関連事業を計画に盛り込む（改訂する府中市立地適正化計画との連携も含む）。
- ・国、広島県、近隣市町の動向を反映。
- ・人口減少に伴う利用者減少が見込まれ、路線再編等の経費削減だけでは維持することが限界となるため、目的地との連携や商業施設等との共創等に取り組み持続可能な公共交通を構築。
- ・運転者等の人材確保。
- ・地域公共交通は目的ではなく手段であり、多くの方から利用され、ありがたがられるものでなければ存在意義が無くなってしまう。どうすれば住民・来訪者等から利用してもらえるのかの視点。